

第5節 遊水地課

〔総括概要〕

遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、遊水池会館管理及び環境保全・ワイズユース関係である。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、交付金を活用しながら、藤岡スポーツふれあいセンターを渡良瀬遊水地のシンボル施設として、総合的な案内機能を有するビジターセンターに改修するための設計業務委託等を行った。また、近隣市町との連携による三県境の活用、日本遺産認定申請、渡良瀬遊水地史跡保全ゾーン内の案内看板設置のほか、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会などの庁外の各種会議に参加し、他自治体などと連携、調整を行った。

渡良瀬遊水地の普及啓発については、ラムサール条約登録記念日を中心としたPR活動の実施、講演会の開催、各種イベントへのPRブースの設置等、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に親しみを持っていただけるようなPR事業を行った。また、藤岡地域の観光案内看板のイラストに栃木女子高等学校美術部の協力のもと渡良瀬遊水地のキャラクターを活用した。

環境保全としては基本となる渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査として、植物の現地調査を行った。また、希少植物保全のための外来植物除去活動、絶滅危惧種復活プロジェクト等の活動を行った。このほかに、ヨシ原内の害虫駆除、樹林化防止等のため、ヨシ焼きを行った。

ワイズユースについては、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成として渡良瀬遊水地ガイドクラブやヨシ細工指導スタッフ、熱気球係留スタッフの養成講座を行ったほか、環境学習やスポーツなど渡良瀬遊水地を活用して行われるイベントを実施した。また、渡良瀬遊水地をよりよくするために、会員組織のファンクラブである渡良瀬ナイツクラブの運営を開始した。

企画調整係

1 渡良瀬遊水地に係る企画・調整

(1) 渡良瀬遊水地シンボル施設整備

藤岡スポーツふれあいセンターを、渡良瀬遊水地の基本計画である「渡良瀬遊水地ハートランドプラン」に位置付けられている、各種情報発信や利活用の紹介などの総合的な案内機能を有するビジターセンターとして再整備するため、基本設計業務委託を実施した。また、施設北側市有地の駐車場整備のため、用地測量業務委託を実施した。なお、国の交付金を活用しながら行うもので、平成29年度へ繰越して整備を行う。

(2) 三県境利活用

平成27年度の三県境調印式を契機として、埼玉県加須市、群馬県板倉町と連携し全国でも珍しい歩いて行ける平地の三県境として、パンフレットを作成しPRするとと

もに、周辺観光地への周遊を促すスタンプラリーを実施した。また、ルート案内のための施設整備について担当者会議により検討を行った。

(3) 日本遺産認定に向けた取組み

市民団体の意向を機に、文化庁が認定する日本遺産に、「田中正造翁が問う『真の文明』によって守られるヨシ原／渡良瀬遊水地」と題したストーリーを作成し、栃木市、小山市、野木町、茨城県古河市、埼玉県加須市及び群馬県板倉町の遊水地周辺4市2町連名で申請した。

(4) 渡良瀬遊水地史跡保全ゾーン案内看板設置

渡良瀬遊水地内史跡保全ゾーンの旧谷中村の施設跡地にある案内看板に、経年による老朽化が見られるため、来訪者への適切な案内を行うため、関係団体と調整しながら改修を行った。併せて、来訪者を現地に誘導するための標識を設置した。

(5) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において開催される「ラムサール条約登録湿地関係市長村長会議」に出席した。

- ・実施日 7月7日（木）～7月8日（金）
- ・会場 名古屋市公館（愛知県名古屋市）
- ・参加市町村 ラムサール条約登録湿地50か所のうち22か所27市町村

(6) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

平成25年度から、渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会、治水団体、利用者団体、環境保護団体など44の構成員をもって、「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」が発足し、平成27年8月から2年間、栃木市長が会長、小山市長・古河市長・野木町長・板倉町長・加須市長が副会長となり、各団体の情報共有・意見交換を行った。

また、9月から4つの部会を2部会ごとに分けて合同で部会を開催し、栃木市が部会長となっている「賢明な利活用及び地域振興検討合同部会」では、アクセス道路のネットワーク化や遊水地内の案内看板について検討したほか、ラムサール条約湿地登録5周年に向けて、渡良瀬遊水地のシンボルとなるロゴマークを広く募集し、最優秀賞1点を決定した。

第4回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

- ・実施日 8月22日（月）
- ・会場 遊水池会館 大会議室
- ・参加団体数 44団体

2 渡良瀬遊水地普及啓発

(1) ラムサール条約登録記念日、PR強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日をラムサール条約登録記念日、7・8月をPR強化月間として、各種PR活動を行った。

- ・栃木市役所本庁舎への懸垂幕の掲示及び4階フロアでのパネル展示
- ・栃木市内公共機関へののぼり旗の掲示
- ・7月23日（土）～8月18日（木）の毎週火曜日、木曜日、土曜日（全12回）「渡良瀬遊水地ぐるり旅」の開催（参加者 計52人）

(2) 栃木市渡良瀬遊水地講演会の開催

渡良瀬遊水地の普及啓発に資するため、講演会を開催した。藤岡文化会館多目的ホールにおいて国土交通省利根川上流河川事務所から借用した治水や利水に関するパネル及び（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団から借用した、絶滅危惧植物や希少な野鳥のパネルを展示し、渡良瀬遊水地ガイドクラブと渡良瀬遊水地野鳥観察会による説明を行った。また、渡良瀬遊水地で生育しているヨシを使用したミニヨシズ作り体験を、ヨシ細工指導スタッフ養成講座受講者を中心に行った。このほかに、栃木市が作成した渡良瀬遊水地の絵本『ハートランドのかくれんぼ』やヨシ紙製品の販売を行った。

- ・実施日 3月5日（日）
- ・会場 栃木市藤岡文化会館
- ・来場者数 150人
- ・内容

第1部 みんなで学ぼう！渡良瀬遊水地

渡良瀬遊水地フォトコンテストの作品紹介
栃木市の取組紹介

第2部 講演会 「来て見て学ぼう！世界の渡良瀬遊水地～世界各国、全国各地から～」

- ・講師 名執芳博氏 NPO法人日本国際湿地保全連合会長
- ・対談 名執芳博氏、鈴木俊美市長

(3) エコライフ・フェア2016へ出展

渡良瀬遊水地の普及啓発に資するため、環境省主催『エコライフ・フェア2016「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」』に職員6人を派遣し、2日間に渡るPR活動を行った。ポスター掲示及びチラシ設置のほか、ヨシ紙すき体験を実施した。

- ・実施日 6月4日（土）～5日（日）
- ・会場 代々木公園（東京都渋谷区）

(4) 渡良瀬遊水地PR活動

渡良瀬遊水地の周知を図るため、各イベントで普及啓発ブースを設置し、パネル展示やチラシ配布等を行い、PR活動を行った。

ア 藤岡さくらまつり

- ・実施日 4月9日（土）・10日（日）
- ・会場 藤岡渡良瀬運動公園

イ 部屋南部桜つつみ桜まつり

- ・実施日 4月23日（土）
- ・会場 部屋南部桜つつみ公園

ウ 渡良瀬遊水地まつり inKAZO

- ・実施日 9月18日（日）
- ・会場 渡良瀬遊水地下宮橋グラウンド

エ 藤岡ふくしまつり

- ・実施日 10月16日（日）

- ・会 場 藤岡公民館駐車場
- オ ふじおか産業祭
- ・実 施 日 11月26日（土）
- ・会 場 藤岡遊水池会館駐車場

(5) 渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

藤岡地域会議による藤岡地域の観光案内板の改修の際に、渡良瀬遊水地のキャラクターを使用した。キャラクターの作画は、栃木女子高等学校美術部の生徒に依頼し、地域に訪れた方へのおもてなしをイラストで表現した。

(6) 渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみの運用管理

平成26年度制作した^{ハーツ}Hearts姫、^{わたらせナイツ}Watarase712の2つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント等に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのPR活動を行った。また、藤岡地域の保育園に訪問し、子ども達へのPRを行った。

3 藤岡遊水池会館管理

(1) 施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物及び駐車場、施設内設備・物品の維持管理を行ったほか、東口玄関の段差を解消するための工事を行った。

(2) 施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に貸付を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
286	6,394	105,425

環境保全ワイズユース係

1 渡良瀬遊水地保全活動

(1) 希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を守り、守ることの必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、外来植物等除去活動による希少植物保全活動の参加者を募り実施した。

実施日	場所	参加者(人)	保全植物
4月24日(日)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	21	ノジトラノオ
7月 3日(日)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	9	ノジトラノオ
7月 3日(日)	渡良瀬遊水地 史跡保全ゾーン	21	ハナムグラ他
9月25日(日)	渡良瀬遊水地 史跡保全ゾーン	10	ハナムグラ他
12月3日(土)	渡良瀬遊水地 第2調節池内	25	ジョウロウスゲ

(2) 渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

渡良瀬遊水地は、国指定の絶滅危惧種を含む希少植物が多く生育する豊かな自然環境にあるが、その生育環境が悪化している場所も見受けられる。ラムサール湿地登録後の生態系調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供するため、生育状況や生育環境についての必要な調査をし、生育位置図などの資料を作成する業務委託を実施した。

(3) 渡良瀬遊水地絶滅危惧種復活プロジェクト

かつては植生が確認できたが、今では確認することができなくなった絶滅危惧植物のミズアオイの再生に向けた取り組みを、参加者を募り実施した。希少植物保全の重要性及び保全していくための継続的な生育観察の必要性を参加者に理解してもらうことを目的として、植物専門家の指導のもと、ヨシの根の除去作業と池の掘削を実施した。

実施日	場所	参加者(人)
4月30日(土)	渡良瀬遊水地 史跡保全ゾーン	23
6月12日(日)	渡良瀬遊水地 史跡保全ゾーン	16

(4) ヨシ焼き

枯れたヨシを焼くことにより害虫を駆除し、ヨシ原内の樹木を焼くことによって大きな樹林になることを防ぎ、治水容量を保つため、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもと実施した。ヨシ焼きは、野火や放火などの火災防止となるほか、多くの貴重植物などの発芽・生育を促進し、遊水地固有の豊かな自然環境の保全にも寄与している。

- ・実施日 3月18日(土)
- ・関係者数 約890人
- ・見学者数 約8,500人
- ・焼却面積 1,350ha(9割)

2 渡良瀬遊水地利活用

(1) 人材育成

ア 渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

講座	実施日	内容	会場	人数(人)	回数(回)
初級	4月23日(土) ～2月11日(土)	植物・昆虫・鳥類等	体験活動センターわたらせ 他	22	11
中級	4月30日(土) ～2月25日(土)	ボランティアガイド実践等	体験活動センターわたらせ 他	25	10

イ ヨシ細工指導スタッフ養成講座

- ・実施日 9月～3月の第3水曜日
- ・内容 ヨシの生育について、ヨシ細工の制作方法等
- ・会場 遊水池会館 他

・応募人数 5人

・回数 7回

ウ 熱気球係留スタッフ養成講座

・実施日 9月～3月の熱気球イベント開催日

・内容 熱気球係留の準備

・応募人数 4人

・講師 (一社) 栃木市熱気球クラブ

(2) 渡良瀬遊水地ガイドクラブ発足後の支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの定例会に参加し、ガイドに必要な資料及び物品の準備など組織運営の支援を行った。また、ガイド申込書の受付を行った。

・ガイド案内実績

	ガイド活動	遊水池会館 管理業務	合計
活動日数 (日)	164	112	276
ガイド担当者(延べ人数)(人)	286	244	530
案内者数 (人)	3,376	2,040	5,416

(3) 環境学習

ア 親子水辺教室(ラムサール条約登録記念日事業)

・実施日 7月24日(日)

・場所 体験活動センターわたらせ

・共催 大平市民生活課(10:00～12:00)

・内容 Eボート体験、ミニヨシづくり、ヨシ紙すき(13:00～15:00)

・参加者 27人(11組)

イ ツバメのねぐら入り観察会(ラムサール条約登録記念日事業)

・実施日 8月24日(水)雨天のため中止

8月28日(日)33人参加

・場所 渡良瀬遊水地

・内容 ツバメのねぐら入り観察

(4) スポーツ活用

ア Eボートレース渡良瀬大会2016

・開催予定日 8月20日(土)

・場所 谷中湖(北ブロック)

・主催 Eボートレース渡良瀬大会実行委員会

・後援 国土交通省ほか

・申込みチーム 45チーム

・実施状況 雨のため中止

イ 渡良瀬遊水地フェスティバル2016

・実施日 9月11日(日)

・場所 谷中湖北ブロック

- ・主 催 渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会
- ・参加者数 約22,000人

ウ ORGANIC RUN (オーガニックラン)

- ・実 施 日 10月29日(土)
- ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
- ・共 催 ORGANIC RUN実行委員会
- ・エントリー者数 909人

(5) 渡良瀬遊水地フォトコンテスト

- ・主 催 渡良瀬遊水地フォトコンテスト実行委員会
- ・後 援 下野新聞社ほか
- ・賛 助 (一社) 関東地域づくり協会
- ・応募総数 245人(933点)
- ・入賞作品 最優秀賞1点、優秀賞1点、準優秀賞2点、入選8点、特別賞8点
佳作30点
- ・展示会場 渡良瀬遊水地湿地資料館ほか

(6) 渡良瀬遊水地のファンクラブ「渡良瀬ナイツクラブ」発足に向けた取り組み

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ今の渡良瀬遊水地をより良くするために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを4月に発足し、運営を開始した。

- ・会員数 一般会員 91人
特別会員 4人
サポート店 3店
- ・ナイツクラブ通信発送回数 5回